

# 令和5年度 第2回常任理事会（定例）

## 議事録

日時：令和5年11月16日（木）19:00～20:10 Zoom オンライン

出席者：秋峯会長、山口副会長、原副会長、米沢理事長、池上副理事長、松本競技委員長、坂本強化委員長、山本審判委員長、寺田ビーチ委員長、濱田総務委員長、吉田委員長、服部副委員長  
議長：米沢理事長 書記：服部副委員長

秋峯会長の挨拶の後、議事に入った

### 【報告事項】

各専門委員会から

#### ○競技委員会（松本競技委員長）

- ・秋季男女一部リーグ戦及びチャレンジマッチの試合結果については、HPの通り報告がなされた。

#### ○強化委員会（坂本強化委員長）

- ・男子学連対抗戦が8月末に愛知学院大学で開催された。  
予選：3位 トーナメント戦：東北学連に敗退 最終結果7位  
福岡大学学生はチームでの韓国遠征の為、参加を辞退  
→参加辞退により、東西選抜のメンバー選考等にも影響があるため、来年度以降の対応などを強化委員長、米沢理事長と協議する。

#### ○審判委員会（山本審判委員長）

- ・秋季リーグ共に審判委員数の確保に問題はなかった
- ・9月2日福岡大学第二記念体育館にてC級審判資格取得講習会を開催し、49名の学生が参加した。  
今年3月にも、えびの市でC級審判資格取得講習会を開催予定

#### ○ビーチ委員会（寺田ビーチ委員長）

- ・7月16・17日に九州ビーチを開催した。  
男子：鹿屋体育大学・九州共立大学 女子：鹿屋体育大学・長崎国際大学が本大会に出場  
全日本ビーチでは、4チームとも予選通過、男子鹿屋体育大学は準々決勝敗退（ベスト8）  
九州ビーチでは、男子の参加が30チームを超えた。女子の参加が少ないので増やしていきたい

#### ○総務委員会（濱田総務委員長）

- ・今年度のYouTube配信について報告された。  
来年度以降、UNIVASに配信してもらえよう打ち合わせ中である。

## 【審議事項】

### ○競技委員会（松本競技委員長）

- ・来年度の男女競技日程（案）について日程確認を行った  
女子秋季リーグ2週目 東部スポーツ広場で開催予定（11月末決定する）  
秋季女子チャレンジマッチ大分大会の会場は未定

### ・ビーチバレー日程

7月20・21日 熊本県芦北マリンパークビーチ（女子は21日のみ）

11月10日 沖縄県西原キラキラビーチ

### 来年度の男女競技日程について審議了承された

- ・沖縄は春秋どちらに開催するのがよいか（台風の時期の沖縄開催は避けたい）
- ・宮崎本大会は、2026年秋に天皇皇后杯B Rがあるため、春開催が良い  
→来年以降の日程については競技委員会・審判委員会を中心に確認をする

### ○強化委員会（坂本強化委員長）

### ・女子学連対抗戦について

12月23日～25日 会場：愛知学院大学

12月に事前合宿

### 九州学連スタッフ・メンバーについて審議了承された

### ・男子一部リーグ競技方法改正について

現在は、1部6チーム制2回総当たり（10日間）で開催している

デメリットとして、チャレンジマッチのチームが一部に昇格しにくかったり、10日間の開催日程により、学生の経済的な負担が大きいなどがあげられた。

→改正案として、1部8チーム制の1回総当たり（7日間開催）で行う。

デメリットとして、1コートの場合1日4試合になる、2コートの場合は1日2試合

現在は大学の施設を借りて開催しているが、コートを2面とることが難しい。施設を借りると、施設使用料が発生したり、配信の準備が大変になるので、今後検討していく

男子1部リーグ競技方法改正については、1月の総会で提案する。来年度は現在のリーグ方式で行い、令和7年度春リーグから始める予定

### ○審判委員会（山本審判委員長）

- ・3月にえびの市でC級認定講習会を開催予定
- ・男子1部リーグ改正については、審判委員を一人増やすだけなので、問題はない

### ○ビーチ委員会（寺田ビーチ委員長）

- ・来年度の日程を早めに決め、今年度同様、九州バレーボール連盟の日程にも上げてもらう
- ・ビーチの審判派遣のお願いの文章については、米沢理事長が文章を作成し、池上副理事長が九州連盟理事長会で提出する

## ○総務委員会

- ・一般会計・特別会計中間報告（案）について

特別会計の繰越金が増えてきているので、海外遠征などの強化費に使用したり、何か新しい事業を始めるなど検討していく。各委員会の先生方にも何か提案があるか聞いてみる

**一般会計・特別会計中間報告（案）について審議了承された**

- ・理事会の日程について

1月20日（土）オンラインで行う

- ・登録について

今後も長崎国際大学に担当してもらう。MRS や学連登録の照合をしっかりとっていく

登録・大会申込など学生やチームで理解していない部分が多いので、1月の理事会や代表者会議で周知する

・会長から西日本学連において「有料化」が検討されているとの報告を受け、九州学連も総務委員会を中心に「観戦の有料化」検討することになった。

## ○その他

- ・チャレンジマッチ大会など、2会場以上で試合が開催される場合の運営について

チャレンジマッチの本部に学生はいるが仕事を理解していない場合や、最終的な責任を取る役員

（大会役員）がいない場合などがある。問題が発生する前にチェック出来るように、役割や仕事をしっかり理解できるようにする →各県学連の学生が理解できるように代表委員の学生同士でも話し合いを行っていく

- ・学連ホームページのアドレス変更のお願い →https をつける（総務委員会に対応）

原副会長・山口副会長の挨拶で終会した。

文責：濱田幸二